



報道で紹介された美瑛高校 11

◆令和5年9月22日(R5. 9. 30 びえい新聞)

弓道部2年生の高石さんが10月6日から釧路市で開かれる全道大会に進出しました。上川支部予選で4位入賞を果たし、旭川地区代表として戦います。

全校生徒で全道大会の健闘を祈りましょう！ ガンバレ！！

**無心で挑んだ弓道新人大会旭川地区予選で4位入賞
美瑛高2年の高石璃乙さん全道大会進出**

弓道部のエースの活躍に注目。美瑛高校2年の高石璃乙さんが9月6日から8日にかけて旭川市の花咲和弓場で開かれた、高体連の弓道新人大会で4位に入賞。10月6日から釧路市で開かれる全道大会進出を決めた。旭川市から美瑛に通う高石さんは「弓道をできる高校」ということから美瑛高校に進学。中学生の頃から興味を持っていた弓道を美瑛高校で始める。美瑛町はスポーツセンターの横に専用の弓道場を備えており、指導者にも恵まれているなど弓道の環境が整っているという。そのような中で

部員の仲間と練習に打ち込む高石さんは、2年になったある時、上達のきっかけとなる状態を経験する。それは「頭でイメージした動きができるようになった」ということ。イメージ通りに身体が動くというのは、アスリートの必須条件。この領域に達したことで高石さんは「弓を射るのが楽しくて練習量が増えたし、積極的になった」と話す。そしてこれが全道大会進出の結果に結び付いた。



今大会では「全道大会には行けたらいいなとは思っていたけれど、射る時は無心になれていた」という。さらに「決勝はさすがに雰囲気違った。でも高校では最後の大会。結果がどうであれ、後悔のないよう弾ききろうと的に向かった」との思いも後押しした。旭川が最後の大会ではなく、釧路の全道大会へとまだ続く。美瑛高校弓道部は、昨年も全道大会に進出して、先輩からの貴重なアドバイスもある。全道大会に向け高石さんは「いつも通りできたら結果はついてくると思う。決勝と同じように、後悔のないよう無心で弾ききりたい」と前を向いた。美瑛高校弓道部で培われた集中力と精神力を、全道大会でも存分に発揮し活躍してくれることを期待したい。